

御礼

このたびは、九州北部豪雨による東峰村内での甚大な被害に、多大なご厚意をいただき誠にありがとうございます。

東峰村民を代表し心より御礼を申し上げます。

七月五日に発生した九州北部豪雨は、村内の一部で十三時から八時間、七〇〇ミリ以上の降水量を記録する本村にとつて、史上例のない大豪雨でした。

これにより、家屋流出、道路寸断、田畑への土砂侵入等々、多大な被害が発生し、犠牲者も出るなど本村はじまって以来の悲痛な事態となりました。

災害発生直後は、あまりの被害の大きさに、多くの村民が衝撃を受け、茫然自失となっておりました。そんな、暗く沈んだ村民の心を奮い立たせたのは、一重に、ご支援をいただきました皆様の温かい真心でございます。

道路状況が悪いにも関わらず、遠方から直接物資を搬入くださる方々もあり、私をはじめ、多くの村民が、人の心のありがたさを改めて感じ、深く深く感謝申し上げます。

今こそ、私たち東峰村民は、一体となつて、美しい故郷の風景、農業、伝統産業を蘇らせるために頑張る時と存じていますし、その事が、ご支援をいただきました皆様のご厚意にお応えする最善の道であると、私は強く思っております。

九月下旬には災害復興対策本部を立ち上げました。一日でも早く復興を成し遂げたいと思っております。

すこしお時間はいただきますが、復興が成った暁には、是非、東峰村を訪れていただければ幸いに存じます。

本来であれば、お一人お一人に御礼を申し上げるべきところ、大変恐縮ではございますが、まずは書中をもちまして、御礼を申し上げます。

平成二十九年十月

東峰村長

澁谷博昭